

全国ろう重複児・者家族連絡会通信

えるで ～大地～

□発行／全国ろう重複児・者家族連絡会

□編集／「えるで」編集委員会

□〒198-0042

東京都青梅市東青梅1-7-4-167

東京ろう重複者とあゆむ会 内

全国ろう重複児・者家族連絡会

TEL/FAX 0428-22-4068

Eメール：ayumukai.tokyo@gmail.com

★お気軽にお問合せください★

ご卒業、おめでとうございます

桜の開花、そして卒業の季節を迎えました。卒業されるなかま、ご家族のみなさまには心よりお祝い申し上げます。4月からはじまる新しい生活でもたくさんの出会いと幸せがありますように願っています。さて、えるで3月号では昨年12月1日に東京都新宿区に開所しました地域活動支援センター「さくらんぼ」、北九州市で事業を展開しています「NPO法人ろう高齢者の豊かな生活を支える会陽だまり」の紹介、そして「群馬県ろう重複児をもつ親の会」の解散報告（たいへん残念ですが）記事を紹介します。なかまの作品は「遠州みみの里」のなかまたちの作品を紹介します。

遠州みみの里
なかまの作品



地域活動支援センター「さくらんぼ」を開設して

東京手話通訳等派遣センター・さくらんぼセンター長
森 せい子



2024年12月1日、東京聴覚障害者福祉事業協会の6番目の事業所になる地域活動支援センター「さくらんぼ」をに開設しました（新宿区信濃町12-1 SANMOビル2階）。都会のど真ん中、新宿御苑や国立競技場、東京体育館の近くで、信濃町や四谷三丁目から徒歩5分、国立競技場前駅や千駄ヶ谷駅にも歩いていくことができ、都営バスの左門町停留所からすぐの場所です。



新宿御苑は四季折々の花が咲き、広大な芝生と大木が森林浴を提供し私たちの心身をメンテナンスしてくれる自然にあふれています。この土地で地域活動支援センターを開設できたことを心から喜び、嬉しく思います。社会資源が豊富です。

地域活動支援センターはその名のごとく、地域において活動を通して生活の質が向上していくことを支援する施設です。予算をいただくのは新宿区です。なので区民のために良質なサービスを提供する責務があります。「さくらんぼ」は聴覚障害者対応中心という特徴を持ち、事業の柱である「相談支援」をしっかりと展開して、具体的に生活の質が改善していく支援を意思疎通支援者と共に実践していきます。



ほぼ毎日繰り返して行う予定プログラムは「食べること 話すこと 運動する事」を誰かと一緒にここの栄養として生活に取り入れてもらう内容です。イベント等の工夫をして区外の方も交流やサービスが受けられるように考えています。本来は都民対象の支援が必要なのですが、現状では地域単位の福祉サービスからスタートしていかなばなりません。なぜ地域活動支援センターを立ち上げたか？それは聴覚障害者の困難性のわかりづらさや意思疎通支援だけでは生活支援にならないこと、重複する障害特性に応じた支援が不足していることなどを、長い間のかかわりの中で痛感していたからです。

長いこと、ある親子さんを見てきました。それは、父親と娘さんで、どこでお会いしても必ず一緒でした。行く先は、障害者関係の集い等でありました。娘さんはろう重複障害者でした。会うたびに「初めまして」という娘さんにとって、私は記憶に残らない人だったかもしれませんが、父親は会うたびに親御さんとしてご苦労が刻まれた柔和な笑顔を向けでご挨拶してくださいました。

数年前に父は天国に召されました。残した娘さんのことがどんなにか気がかりだったろうと思いますが、娘さんがろう重複障害者支援施設「たましろの郷」で元気に過ごせていることを天国から微笑んで見ていらっしゃるような気がしました。本当に「たましろの郷」があってよかったと思うのです。



新年会で「だまこ餅雑煮」をみんなで作って新年のお祝いをした時の様子



※「さくらんぼ」のロゴマークは仲間たちの応募投票で決めました。ロゴの作者は「かたつむりクラブ」利用者の小学部の女の子だそうです。

街中にもこのような親子さんがいらっしやると思っています。「さくらんぼ」に是非一緒に来てほしいと思っています。親御さんの命は永遠ではなく有限です。ずっとぴったりと寄り添ってきた親御さんもお世話ができなくなるときは来ます。お元氣なうちに他人とのかかわりを持って、さまざまな社会資源や手話の通じる仲間たちと出会ってほしいと願います。

（この原稿を書き上げた数日後に娘さんは天国に召されました。父娘で天国で仲良く歩いていると思います。合掌）

「さくらんぼ」は聴覚障害をプラスのご縁にして様々な人が出会い、お互いに共鳴し合って、お互いのこころの元氣や地域生活を支援するために存在します。法人内には東京手話通訳等派遣センター・たましろの郷・放課後デイサービスクラブかたつむり・グループホーム畑中たましろ荘も有しており地域生活を支援しつつ、状況の変化に合わせてこうした他事業所や施設につなぐことなども視野に入れ連携をとっていくことが大切と思っています。

そして私たちが大切にしていきたいことは、「ありのまま・今ここ」を共有していくことです。一緒に笑い、語り、食べ、動く、感じることをしていきます。

昨年、最高裁での旧優生保護法は違憲であるとの判決を胸に、我々が社会の中の優生思想を変革していくキーを握っていると自負し、聴覚障害者が元氣に社会参加し街の中でその人らしく生きていけます。まだまだ開設したばかりなので閑古鳥が鳴く日もありますが、地道に時間をかけて、いずれ会う仲間たちのために常にアンテナを張っていたいと思います。

【訃報】

「さくらんぼ」の文中で紹介されています「たましろの郷」のなかまの小林亜由美さんが3月22日に逝去されました（享年53歳）。天国でご両親に会えましたでしょうか。在りし日の亜由美さんを偲びつつ心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

（全国ろう重複児・者家族連絡会）

北九州市でろう高齢者事業を展開する「陽だまり」の紹介

NPO 法人ろう高齢者の豊かな生活を支える会陽だまり

理事長 京山敏子



福岡県北九州市八幡東区にある「NPO法人ろう高齢者の豊かな生活を支える会陽だまり」です。平成14(2002)年頃、聞こえない職員の1人が「交友幅が狭くなり、足も弱ってきたこともあって、外出もままならず寂しい毎日を送っている、行き場のない高齢者に目を向けてほしい!」と、ろう高齢女性の必死の訴えを聞いたことから始まりました。平成15年に聞こえない自分たちもホームヘルパー2級資格を取得して、聞こえないヘルパー5名と手話のできるヘルパー2名で今後ヘルパーとして業務についた際にサービスが提供できるようにと料理の勉強会を始めましたが、平成16年4月に、ろう高齢者が自由に集まり手話でのおしゃべりができる場として「陽だまり」を立ち上げ本格的に活動を始めました。



「陽だまり」のみなさん

当時は公共施設などを使用していましたが、平成28年4月に北九州市戸畑区に「陽だまり小規模共同作業所」を開所しました。令和3年1月にNPO法人を取得し、3月末に北九州市八幡東区にある八幡東区社会福祉センター3階に移転しました。令和5年度より「地域活動支援センター陽だまり」に移行し、たくさんのろう高齢者が集まり作業とサロンを開催しています。

作業では、製品の販売や小物のリメイク、オーダー等も受け付けていて、丁寧な縫製に感動を受けた常連客がいっぱいいます。サロンでは、週数回デイサービス等に通っている利用者が「ここだと手話での会話ができるから楽しい!」とってくれています。昔聞こえる社会の中で様々な偏見や差別を受けてきたろう高齢者たちが幸福感に満たされる終焉を迎えられるように、私たち職員はこれからも日々精進したいと思います。

今後の課題は、北九州市にもろう老人ホームの建設を切望されているご家族のニーズにどう応えていくかで、職員の人材育成の必要性を感じます。

群馬県ろう重複児・者をもつ親の会解散のご報告

群馬県ろう重複児・者をもつ親の会

とまとの会 会長 飯島 恵子



平成11(1999)年10月に「ひとりぼっちのろう重複児者家族を無くそう」「繋がりを大切に子どもたちが安心して暮らしていける社会にしたい」との思いから会を立ち上げ活動して参りました。発足当時は子どもたちが楽しめる行事から始め、関東地区ろう重複者家族連絡会ブロック会議が群馬で開催されたことをきっかけに大勢の県内手話サークルの方々にお世話になり、徐々に家族会としての意識が高まっていきました。



クリスマス会

バーベキュー・ボウリング・バス旅行・クリスマス会・ろう学校文化祭への出店の恒例行事の他に、県内外の障害者施設の見学・福祉制度の勉強会、新聞発行やカレンダー制作販売等の活動をしながら 8 団体へも加入させていただき聴覚障害者団体の一員として微力ながら歩みを共にさせていただきました。

しかしながら、親の高齢化・各家庭環境の変化・後継家族会員不在等の理由で運営活動が厳しく、協議を重ねた結果解散することとなりました。家族連絡会のみなさまには設立当初より様々なアドバイスをいただきありがとうございました。12 年前に初代会長の四方田さんを失い試行錯誤しながら細々と活動してまいりました。



バーベキュー大会

解散理由は毎年全聴福研分科会で協議されるものですが、とまとの会では克服できませんでした。今後は、サークルのような形で家族交流は続けたいと考えております。ご報告が遅れましたこと、お詫び申し上げますとともにご理解いただきますようお願い申し上げます。

群馬の地から、家族連絡会のみなさまの益々のご活躍とご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



【事務局から】

<2025 年度総会について>

○開催日時：2025 年 6 月 29 日（日）13 時 00 分～16 時 30 分

○開催場所：静岡県浜松市福祉交流センターギャラリー43（4 階）



【2024 年度会員加入状況】 ※2025 年 3 月 20 日現在

正会員：個人 36 / 団体 11 賛助会員：14 / 団体 2

※2025 年度も引き続き、会員入会（新規・継続）のご協力をよろしくお願いいたします。

【入会のご案内】

郵便振替：口座記号 10100 口座番号 25727111

口座名義：全国ろう重複児・者家族連絡会

年額会費：個人正会員一口 2,000 円 個人賛助会員一口 1,000 円

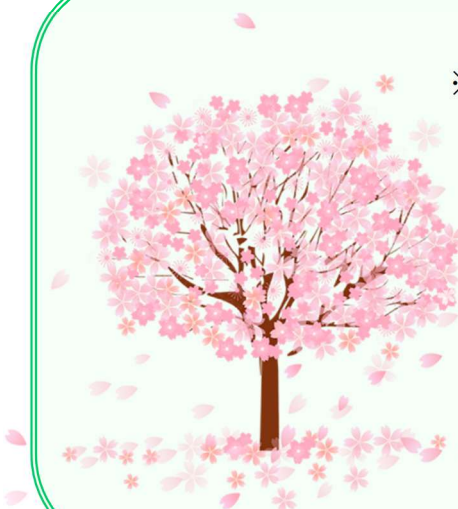
団体正会員一口 5,000 円 団体賛助会員一口 3,000 円

〒198-0042

東京都青梅市東青梅 1-7-4-167 全国ろう重複児・者家族連絡会事務局

TEL/FAX:0428(22)4068

e-mail:ayumukai.tokyo@gmail.com



【青梅の里から】

色とりどりの花が咲きそろう季節となりました。我が家の孫たちも中学校を卒業し新たな道に進みます、皆さんのご家庭でも色々な節目を迎えられると思います。

家族会活動も中々思うようにいかないところもあると思いますが、仲間の権利を代弁できるのは家族です、制度に飲み込まれず仲間の生活を守っていつてあげたいと思います。

（武政 佳子）



レイアウト編集：宮 由美
（とちぎ“ひびきの会”）